

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/06/20号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



戻り高値更新後に需要不安で急反落

NY原油先物相場は、1バレル=123.68ドルまで値上がりして3月9日以来の高値を更新した後、108ドル水準まで急反落する展開になった。需給ひっ迫評価を背景に、戻り高値を更新するトレンドは維持された。しかし、その後は需要不安を織り込む形で急落地合に転じ、6月17日安値は106.40ドルになっている。高値から17.28ドル（14.0%）の急落地合になり、逆に5月19日以来の安値を更新した。

世界経済の先行き不透明感が急激に高まっている。中国では新型コロナウイルスの影響で行動規制強化に対する警戒感がくすぶり続けている一方、米連邦準備制度理事会（FRB）が6月15日の政策会合で0.75%の大幅利上げに踏み切ったことで、インフレ対策の急激な利上げに実体経済が対応できなくなるリスクが警戒され始めている。米国株は、ダウ工業平均株価が3万ドルの節目を割り込む急落地合になったが、非鉄金属や鉄鉱石などのコモディティ価格も急落している。その流れで原油相場も急落する展開になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（6月10日時点）は、原油が前週比196万バレル増、ガソリンが71万バレル減、石油精製品が73万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

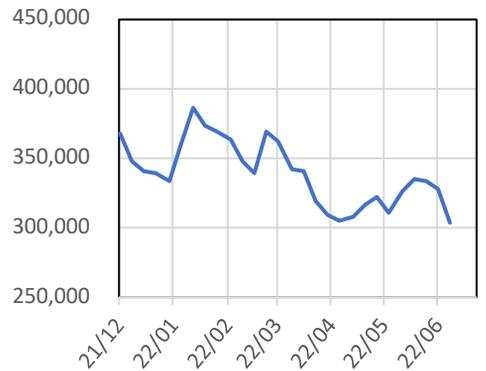
需要不安の消化を求められる、上昇基調は維持される見通しも

需要不安が急激に高まる中、調整圧力が強まり易い地合に急変している。中国の新型コロナウイルスに加えて、世界的な利上げによる景気減速、更にはリセッション（景気後退）の懸念を織り込む動きが強くなっている。前週の急落地合に関しては過熱感が強く、6月21日に7月限の取引が終了すると安値修正の動きは想定できるも、修正高の有無の目線に留まり易くなっている。現在の需給見通しからは上昇基調が崩れる可能性は低いとみられるが、短期目線では需要リスクの消化が最優先されている。

国際エネルギー機関（IEA）は6月15日公表の月報で、世界の石油供給は拡大する需要を2023年に満たすのに苦戦するとの見通しを示した。需要がパンデミック前の水準を超える一方で、石油輸出国機構（OPEC）プラスの増産余力が乏しく、制裁でロシアの油田閉鎖を余儀なくされる中、需給バランスが不安定化するリスクが指摘されている。ただ、原油価格の高騰と経済見通しの悪化が懸念材料になるとしている。

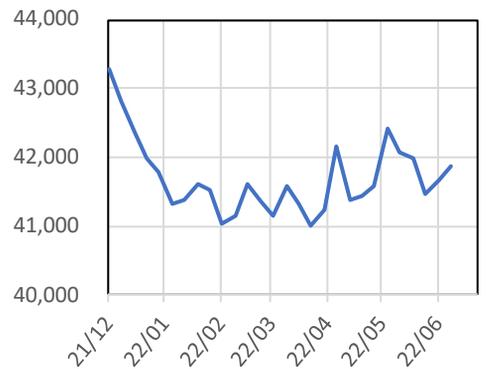
世界経済の減速を考慮に入れても、原油需給ひっ迫リスクの解消が難しい見通しに変化は見られない。ロシア産原油に関しては中国やインドが調達量を増やしていることが報告されているが、欧州連合（EU）禁輸の影響は大きい。また、OPECは5月に増産ではなく減産対応を迫られるなど、7月以降の増産加速合意の実現性は疑問視されている。米国のシェールオイルの増産加速が進む兆候も見られない。このため、マクロ環境としては上昇トレンドにおける調整安局面との評価になるが、株式や非鉄金属、鉄鉱石などがパニック的な急落圧力に晒されているため、まずはマーケット環境全体の鎮静化が最優先される。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



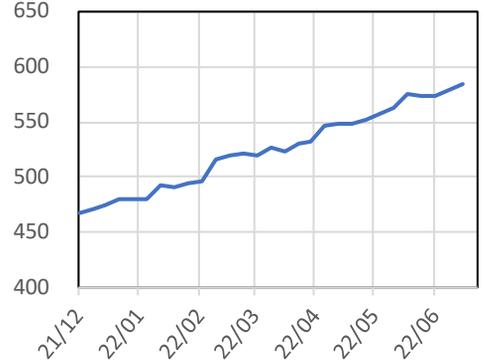
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

